

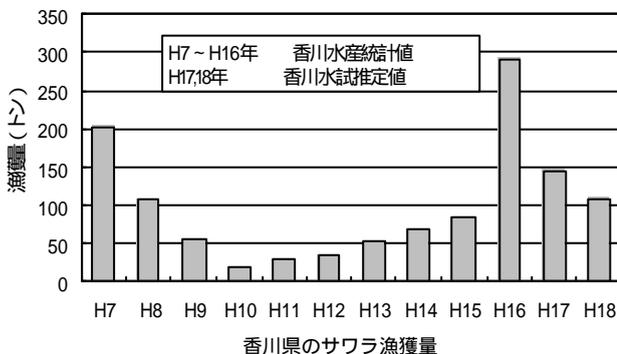
人と魚と海のネットワーク
香川県漁連ホームページ
<http://www.jf-net.ne.jp/kagyoren/>
 E-mail:gyoren@kagawa-gyoren.or.jp



JF 高松市北浜町 8 - 25
 TEL 087-825-0350
 J F 香川漁連 FAX 087-851-0699

平成18年春のサワラ漁はいまひとつ!?

香川県ではサワラの漁獲が激減してきた平成9年からさわら流しさし網漁業者を中心として、さわら流し網の秋漁休漁や春漁での網目拡大、さらには種苗放流などサワラの資源管理に取り組んできました。また平成14年からは瀬戸内海関係11府県で、休漁期の設定や種苗放流などサワラの資源回復のための措置を行っています。その結果、平成10年は香川県のサワラ漁獲量が18トンと過去最低でしたが、その後は順調に右肩上がりとなり、平成16年には292トンの漁獲がありました。これはサワラの資源管理効果と合わせ、平成14年生まれの群の発生量が非常に多く(卓越年級群)平成16年春漁でちょうど2歳魚(体重3kg程度)として多く漁獲されたためと思われます。



さて、流しさし網の漁獲報告から推定したところ、平成18年春漁の漁獲量は、105~115トン程度で前年の70%程度となりました。これは今年春の場合、体重6kg以上のさわら(平成14年生まれの4歳魚が中心と思われる)の漁獲は前年を上回ったものの、体重3kg程度のさわら(平成16年生まれの2歳魚が中心と思われる)の漁獲が前年を大きく下回ったためと思われます。また、今年春の漁獲の特徴として、さごし(平成17年生まれの1歳魚)の漁獲量が前年の140%と高かったことから、来年春に3kg程度のサワラの漁獲が増加することが期待されます。平成14年生まれのように、今年生まれの発生量が非常に多いことを期待するところです。

ところで、このように天然魚の発生(資源量)の少ない年には、放流事業は非常に有効であり、今年

春にも1歳魚から3歳魚の標識魚(放流魚)が播磨灘を中心として再捕されています。今年は採卵に苦労しましたが、種苗生産や中間育成を行われた方々の努力により、香川県海域を含む瀬戸内海東部海域で105千尾の稚魚を放流しました。水産試験場では放流魚の追跡調査を行っていますので、サワラ幼魚が柵網等に混獲されましたら、組合を通じて水産試験場安部(TEL 087-843-6511)まで連絡して下さるようお願いいたします。

赤潮終息宣言を発表

香川県魚類養殖業赤潮対策本部(本部長:服部郁弘県漁連会長)は、9月5日、今後海水温の降下が予想され、養殖魚類に被害を及ぼす有害プランクトンの赤潮発生の可能性が低くなったとして、赤潮終息宣言を発表しました。

同本部は、7月24日に庵治町観音崎-土庄町小豊島東端-岡山県蓬崎を結んだ線以東にカレニアミキモトイによる赤潮注意報を発令していましたが、8月16日には解除していました。

のり着業検討会開催

香川県海苔養殖研究会(会長:森朝征)は、去る8月25日から8月31日にかけて平成18年度ののり着業検討会を開催した。

本検討会は、毎年新漁期を迎えるに当たって、のり養殖業の安定と品質向上及び経営の合理化を目的に、海苔養殖指導指針や酸処理剤の取扱い要領並びに乾海苔共販対策等を生産者に直接周知するため、関係機関の協力のもと例年各地区で開催している。本年度は県内3地区で開催しノリ養殖業者・漁業関係者延べ約250名が出席した。

- 8月25日(金)小豆島地区
- 29日(火)東讃地区
- 31日(木)高松・中讃・西讃地区

検討会では「海苔養殖指導指針」や「酸処理剤の取扱い要領について」(事務局)「海況について」

「栄養塩調査について」(県水試)等の説明が行われた。今漁期ののり作りについては、食品の安心・安全性が叫ばれている中で、特に酸処理対策、異物混入等衛生対策にはより一層の慎重さで臨むことが確認された。また、色落ちの要因であるユーカンビア対策については活発な議論がかわされた。

検討会終了後、松谷海苔(株)社長 松谷友一氏・小浅商事(株)大阪支店長 水島 康氏、(株)小善本店営業部長 相川義夫氏から「香川県産海苔の評価と改善点について」、「消費者が望む海苔について」をテーマに夫々講演があり、出席者全員が熱心に聞き入っていた。また、消費需給動向・共販価格等活発な意見交換が行われた。



活発な質問が飛び交う意見交換会(松谷海苔(株)松谷社長)

平成18年度 餌飼料と養殖魚のブランド化に関する研修会開催

平成18年度餌飼料と養殖魚のブランド化に関する研修会(主催:香川県かん水養殖漁業協同組合)が、8月30日(水)午後2時から漁連会館6階大会議室で開催された。

この研修会は毎年開催されており、養殖技術の研鑽を図ると同時に、後の意見交換会では生産者、漁協、漁連職員、関係者間で、生の声を聞く有意義な会となっている。

会はまず主催者のかん水漁協嶋野組合長の挨拶で始まった。養殖業界の現況を鑑み、高騰する餌飼料に関連して「養魚用配合飼料の現況と今後の対策について」と題し、日本飼料協会の技術員であり、日清丸紅飼料(株)水産研究所長の天野高行氏が講演を行った。



熱心に聞き入る参加者たち(天野所長の講演)

養殖にかかる主要コストとなる餌飼料が高騰している要因が、中国需要の増大である。また、今後も中国国内の蛋白増産計画を進める中、増加傾向にある。加えて魚粉の輸出大国である南米のチリ、ペルーではイワシ資源の減少から減産傾向である事など、魚粉の確保、安定供給において非常に危機的な状況の報告があった。

また、魚粉は非常に高性能な蛋白源であり、各種餌飼料の原料として活用されており、かかる需要は増加の一途であり、また、高性能がゆえに代替物となるとなかなか見当たらないのが現状である。とはいえ、現状に甘んずることなく今後も代替物の模索研究や、魚粉と準代替物の併用策など研究を進めねばならない等、貴重な内容であった。

引き続き低迷する魚価対策並びに経営強化の手法として取り組むべき養殖魚のブランド化について、東京海洋大学客員教授で水産流通がご専門の崎浦利之氏の講演を頂いた。



東京海洋大学客員教授崎浦氏の講演風景

ブランド化とは消費者の求める安全であり、安心である、高品質でうまい等のニーズに合わせて製造

され、他と明らかに識別される物を作る事である。そして、生産コストを下げる事が目標ではなく、品質向上を図ることで販売競争に勝つことであり、究極はブランド化にかかる経費を上乗せしても、更に魚価は高く、尚且つ沢山売るためであるなど、今後の組合推進において貴重なご意見を伺った。

出席者は魚類養殖業者を始め、後継者や関係者で70数名の参加を得て、予定の時間を30分ほどオーバーして講演会は終了した。また、その後場所をオークラホテルの会場に移し、聴講者に両先生を交え、意見交換会が行われ、盛況裡に終了した。

ご存知ですか？

男性も育児休業を利用することができます

10月は仕事と家庭を考える月間です

少子化が進行する中、働きながら子どもを育てやすい職場環境を整備することが、さらに重要になっています。

育児・介護休業法では、育児休業をはじめ仕事と家庭の両立を支援する制度が定められています。

企業には、育児・介護休業法で定められた各種制度を就業規則等で明確にルール化しておくとともに、制度が利用しやすい職場環境を整備することが求められます。

育児・介護休業法は企業や事業所の規模にかかわらず適用されます。

育児・介護休業法は労働者の性別にかかわらず適用されます。男性労働者も育児休業を取ることができます。妻が専業主婦でも、産後8週間までは男性も育児休業を取得することができます。また、共働きの夫婦の場合、夫と妻で休業期間を分担して取得することもできます。

詳しい内容については、香川労働局ホームページの他、香川労働局雇用均等室(TEL 087-831-3762)までお気軽にお問い合わせください。

主な行事予定(10/1~10/31)

- 10月 4日(水) 全国漁業代表者会議(東京)
- 12日(木) 全国漁港漁場大会(東京)
- 24, 31日(火) 職員研修会
- 29日(日) 第26回全国豊かな海づくり大会(佐賀)

**平成18年度 地産地消優良活動表彰
「生まれも消費もかがわけん大賞」応募**

1 趣旨

農林水産物の地産地消活動に積極的に取り組み、地域の個性を活かして創造的でかつ将来性があると認められる団体等を表彰し、広くPRすることにより、県内での地産地消運動をさらに進めるものです。

2 主催 かがわ地産地消運動推進会議、香川県

3 応募要件

応募者は、香川県内で地産地消活動を行っている団体(法人(営利、非営利は問わない)、任意団体(規約の有無に関係なく個人グループや、地産地消の推進を行っている協議会等)又は個人とします。

4 応募方法

申込書に必要事項を記載し、必要に応じて活動内容の理解を助けるための資料(写真、記事、チラシ等)を添付して、締切までに下記事務局へ送ってください。

電子ファイルで提出する場合は、ワード、一太郎、PDF、エクセル、JPEGのファイル形式をお願いします。電子ファイルの申込書様式は、事務局へ請求いただくか、下記ホームページからダウンロードできます。

なお、提出された申込書、資料(写真を含む)は原則として返却できません。

<申込書送付・問合せ先>

かがわ地産地消運動推進会議事務局

〒760-8570(住所記載不要)香川県農政課内

TEL 087-832-3395 / FAX 087-835-9173

E-mail : nouki@pref.kagawa.lg.jp

URL : <http://www.pref.kagawa.jp/nousei/santa/>

5 募集締切 平成18年11月30日(木)事務局必着

6 募集部門

(1) 地域振興部門 (2) 交流促進部門

7 審査

(1) かがわ地産地消運動推進会議に設置する審査会で審査を行います。

(2) 審査の視点(審査基準は別表による)

地域振興部門
<ul style="list-style-type: none"> ・地域農畜水産業の振興への貢献 ・農畜水産物の有効利用 ・自治体等との協力関係 ・環境保全、資源循環への寄与 ・知的財産の創造、保護、活用 ・持続性 ・創造への取組

交流促進部門
<ul style="list-style-type: none"> ・「顔が見え、話ができる」取組 ・地場農畜水産物の理解の促進 ・消費者ニーズにあった地場農産物の生産 ・知的財産の創造、保護、活用 ・持続性 ・創造への取組

8 表彰 審査会での審査結果をもとに、主催者が表彰します。

入賞 香川県知事賞 1点以内(賞状及び副賞)

かがわ地産地消運動推進会議会長賞 1点以内(賞状及び副賞)

「讃太くん」賞 数点程度(記念品)



かがわ地産地消イメージキャラクター「讃太くん」



北海道2泊3日



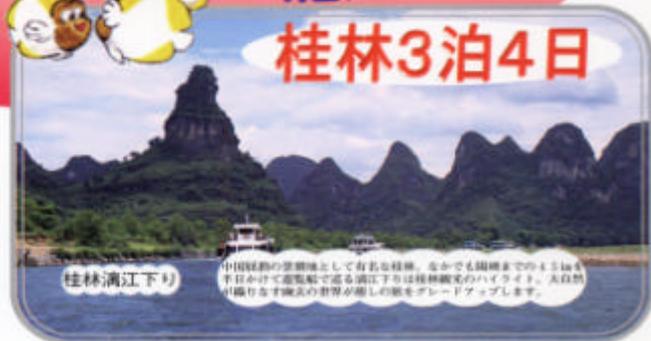
JFマリンバンクの
旅行貯金で行く

募集期間 8月1日~12月30日



癒しの旅

桂林3泊4日



桂林漓江下り

中国観光の景観地として有名な桂林。なかでも周村までの45kmを平日かけて遊覧船で巡る漓江下りは桂林観光のハイライト。大自然が織りなす雄大な自然が癒しの旅をグレードアップします。

